

# ギネスとミシュラン

2014年 3月7日

ギネスは英国のビール会社、ミシュランはフランスのタイヤメーカーで知られる。

また、ギネスは「ギネスワールドレコード(世界記録保持者)」を認定し(2014年3月現在約4万件)、本にして記録、出版する会社として有名。地球上にあるあらゆる「世界一」を収集して、独自のデータベースにアーカイブしている**ギネス**世界記録の公式ホームページがある。記録本は毎年9月に発行され、様々な分野の世界一が何かを認定、掲載している。記録認定を行っているギネスワールドレコーズには様々な地域から申請が届く。日本には、「ギネスワールドレコーズジャパン」という名称の日本支社がある。

ミシュランは旅行ガイド、レストランガイドを書籍として発行する会社として旅行者、世界のグルメに欠かせないものになっている。

両社とも本業も盛り立てるために始めた企業のマーケティング活動が有名になった例で、本業より本の方が有名になっている。

「ギネスワールドレコード」「旅行ガイドやレストランガイド」は世界の種々の記録や世界の星つきトップレストランを認定し書籍にして記録している活動は世界で広く支持をされ、一つの文化になっている。

現在、ミシュランガイドもギネスブックも本業から独立した形態になっている。

ギネスブック(ギネス・ワールド・レコーズ)は「アイルランドのビール会社ギネス醸造所の代表取締役だったサー・ヒュー・ビーバーが、仲間とアイルランドへ狩りに行った時狩りの獲物のうち、世界一速く飛べる鳥はヨーロッパムナグロかライチョウか、という議論になり、これになかなか結論が出なかったため、ビーバーがもしこういう事柄を集めて載せた本があれば評判になるのではないかと発想した。

ロンドンで調査業務を行っていたノリス・マクワーターとロス・マクワーターに調査と出版が依頼され、1951年にギネスブックの初版が発売された。」とあるので、発案者はギネスビールと縁のある人ですが、販促本ではありません。

ミシュランガイドは「パリ万博が行われた1900年、自動車運転者向けのガイドブックとしてフランスで発行されたのが始まりである。内容は、郵便局や電話の位置まで示した市街地図のほか、都市別のガソリンスタンドやホテルの一覧、さらには自動車の整備方法などであった。

これは35,000部が印刷されて無料で配布された。発行者であるミシュラン社はタイヤ会社であり、これにより自動車旅行が活発化し、タイヤの売れ行きが上がるのが目論みだったといわれる。

この「ガイドはタイヤのため」「ガイドはミシュランにとって、ブランド名を売り込むため、タイヤ事業を発展させるために存在する」との原則は現在も引き継がれており、実際、ミシュランの2010年第1四半期の売上高に占めるレストランガイドや旅行ガイドなどの出版物が占める割合は約1%とされる」とされ、顧客サービス本と言えないことはないです。

